

【法的根拠】

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領

学校の教育目標
ひがこまっ子は、みんな仲よし、夢がある
具体的な子ども像

- ・思いやりのある子
- ・考える子
- ・やりぬく子
- ・じょうぶな子

- ・児童の実態
- ・保護者の願い
- ・教師の願い
- ・地域社会の要請

学校の道徳教育の重点目標
自立心や自律性、自他の生命を尊重する心を育てる

各学年の指導の重点

第1学年及び2学年 ①あいさつなど基本的な生活習慣 ②社会生活上のきまり ③善悪の判断 ④人間としてしてはならないことはしない	第3学年及び4学年 ①集団や社会のきまり ②協力し助け合う態度 ③集団の中の役割 ④社会の一員としての自覚	第5学年及び6学年 ①法やきまりの理解 ②相手の立場の理解と支え合う態度 ③集団における役割と責任 ④国家・社会の一員としての自覚
--	--	--

各教科

国語 ・国語の尊重(伝統・文化の尊重) ・「話すこと聞くこと」の能力は道徳の学習を深める
社会 ・国土と歴史に対する愛情 ・国家・社会の形成者としての公民的資質の基礎
算数 ・見通しをもち筋道立てて考える ・数理的な考えや処理の仕方の活用(生活をよりよくしようとする態度)
理科 ・自然に親しむ(自然愛) ・問題解決能力や科学的な見方・考え(道徳的判断力)
生活 ・人やもの、自然との触れ合い(自己を見つめる) ・基本的な生活習慣(自立の基礎)
音楽 ・音楽の愛好(美しいものの尊重) ・歌唱(伝統・文化) ・豊かな情操(道徳的心情)
図画工作 ・つくり出す喜び(道徳性の基礎) ・豊かな情操
家庭 ・家庭の一員としての生活の工夫(指導内容の一部) 日常生活に必要な知識・技能
体育 ・健康・安全(指導内容の一部) ・努力・協力(指導内容の一部) ・楽しく明るい生活

道徳の時間

各学年の重点内容項目

- 1年…基本的な生活習慣の習得、礼儀、善悪の判断、規則の尊重、公共の精神
- 2年…礼儀、親切・思いやり、感謝、善悪の判断、生命の尊さ
- 3年…節度・節制、生命の尊重、信頼・友情、規則の尊重、勤労・公共の精神、家族愛・家庭生活の充実
- 4年…努力と強い意志、感謝、国や郷土を愛する態度、国際理解・国際親善
- 5年…善悪の判断・自律・自由と責任、個性の伸長、相互理解・寛容、公正・公平・社会正義、国や郷土を愛する態度、よりよく生きる喜び
- 6年…善悪の判断・自律・自由と責任、真理の探究、感謝、自然愛護、勤労・公共の精神、国際理解・国際親善、生命の尊さ、よりよく生きる喜び

補充・深化・統合

指導方針

- ・道徳の時間の授業を充実する。
- ・各教科・領域の中で特性に応じた道徳教育を進める。
- ・実生活の場に結びつけ、具体的に進め、心と行動を育てる。
- ・家庭や地域と協力して進める。

指導の工夫

- ・学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。
- ・道徳的価値の自覚及び生き方についての考え方を深め、道徳的実践力を育成するものとする。

外国語活動

- ・積極的なコミュニケーション(人とのかかわり)
- ・言語と文化(伝統・文化の尊重)
- ・国際理解、国際親善

補充・深化・統合

総合的な学習の時間

- ・課題を主体的に解決する
- ・人とのかかわり、思いやり、ボランティアの心と行動を育てる
- ・よりよく生きようとする態度を育てる

特別活動

- 学級活動**
 協力し、助け合う心情を育てる
- 児童会活動**
 自主的・実践的な態度を育てる
- クラブ活動**
 自主的・実践的な態度を育てる
- 学校行事**
 望ましい集団生活を営み、より良い生活を築く

生活指導

- ・基本的な生活習慣の徹底
- ・学習ルールの確立
- ・助け合い・協力の指導
- ・いじめ・不登校防止指導の充実

環境整備

- ・言語環境の整備
- ・清潔な校舎内外
- ・施設設備の安全確保
- ・信頼に支えられた人的環境

家庭・地域との連携

- ・道徳教育の趣旨の理解
- ・道徳の授業の公開
- ・保護者・地域との協力
- ・学校外協力者との連携

推進体制

- ・授業で育てる
- ・教師(個の力) × 教師(個の力) = [東小松川小の組織の力]
- ・35時間以上の時数の確保